

1. 3 ビデオ調査による歩行経路調査

木陰が歩道に創出されていた場合、人は選択的に木陰の部分歩くか、調査を行った。

1) 調査概要

①実施日時：2010年9月6日 13時～16時

②実施場所：新橋、外堀通り(都道405号)歩道橋上(図1-16)

③調査方法：歩道橋より歩道上部を撮影し、歩道全面が日陰の場所(図1-17地点①)を通った人が、街路樹により半分日陰の場所(図1-17地点②)を通った時にどこを通るか確認した。



図1-16 動画撮影実施場所

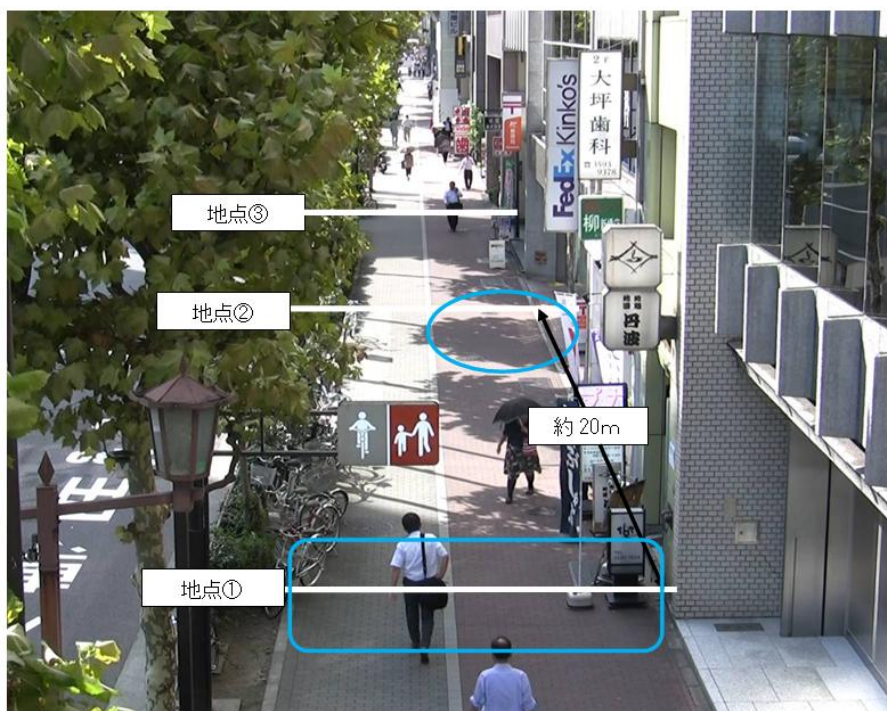


図1-17 調査解説図

④計数方法

- ・解析対象時間は、地点①が全面日陰であり、さらに地点②にて歩道の半分に木陰が形成されていた時間帯である 14:10～14:40 の 30 分間とした。
- ・計数では地点①および地点②通過時において歩道の左右どちら側を通っているかを記録した。
- ・人の位置についての判断は中央の白線を基準とした。
- ・計数対象者は地点①～地点③までをすべて通った人とし、途中で店舗に入った人や、正面からの歩行者や障害物により歩行経路を急に変更させた人は除いた。自転車は除いた。

2) 調査結果

- ・計数対象者は、合計 39 名。その内、地点①で左側だった人は 15 名、右側は 24 名であった。
- ・地点①で左側で、地点②で右側（木陰）に進路変更した人は 40%であった。
- ・地点①で右側で、地点②で左側（日なた）に進路変更した人は 17%であった。

表 1-5 計数結果

		地点②		計
		そのまま	変更	
地点①	左側(日なた)	9 (60%) …A	6 (40%) …B	15
	右側(日陰)	20 (83%) …C	4 (17%) …D	24
計				39

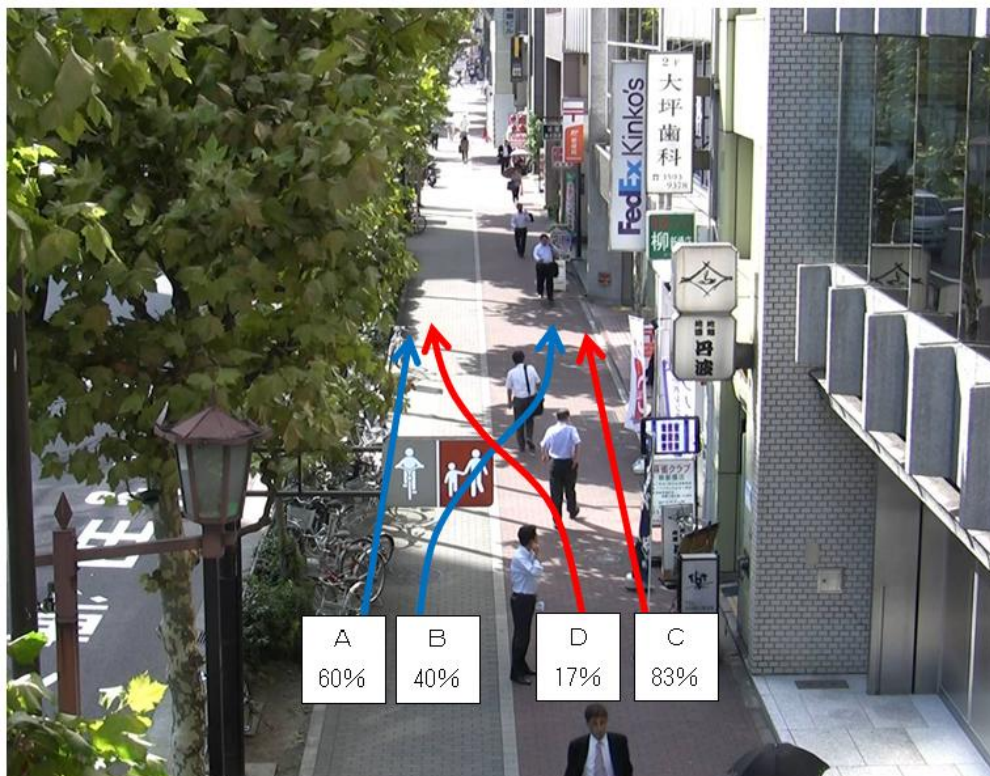


図 1-18 歩行経路イメージ図